

# 新年のご挨拶

関東森林管理局長 齋藤伸郎



平成31年度の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃より関東森林管理局の業務運営はもとより、林野行政全般にわたり、ご理解とご協力をいただいております。厚く御礼を申し上げます。

昨年は7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震、度重なる台風など、我が国は多くの災害に見舞われました。被災された方々及び関係者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。草津白根山（本白根山）の噴火や台風被害等が発生していることから、関東森林管理局としても、被災地の早期復旧に努めるとともに、災害に強い安全な国土づくり、緑の

国土強靱化を進めてまいります。

さて、我が国の森林・林業については、人工林の多くが本格的な利用期を迎えています。この豊富な森林資源を「伐って、使って、植える」という形で循環利用していくことで、豊かな森林を次世代へ継承していくことが大きな課題となっております。

このような状況の中、適切な経営管理が行われていない森林について、市町村が仲介役となり意欲と能力のある林業経営者への集積・集約化や市町村による公的経営を進める森林経営管理法が昨年5月に成立しました。また、市町村が実施する森林整備及びその促進に資する取組の財源として、森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）が導入されることとなっております。

また、意欲と能力のある林業経営者の育成のため、国有林野の一定の区域で、公益的機能を確保しつつ長期・安定的に立木の伐採を行うことができる新たな仕組みの導入に向けた検討も進められているところです。

関東森林管理局といたしましては、公益重視の管理経営を一層推進するとともに、林業の成長産業化や地域貢献に向け

た取組に力を入れてまいります。林業を成長産業にしていく上で、森林施業の生産性向上、労働安全の確保は重要な課題です。この課題解決に向け、今、関東森林管理局では組織をあげて、コンテナ苗の活用や高性能林業機械を活用し伐採から造林までの作業を連続して行う一貫作業システムや、かかり木が少ない列状間伐を管内全域で推進しており、新たな施業方法が民有林にも広く普及するよう本年も現地検討会を開催してまいります。

また、民有林と国有林の連携を強化するため、地域の森林づくりについて、市町村や林業関係者等への技術的支援を行う森林総合監理士（フォレストラー）を育

成してまいります。さらに、「民国連携推進地区」を設定し、市町村森林整備計画の作成や地域の森林・林業を巡る課題解決に向けた取組を重点的に支援するとともに、民有林を経営する方と協定を締結して「森林共同施業団地」を設定し、一体的な路網整備や間伐等の森林施業を推進してまいります。

国産材の安定供給体制の構築に貢献していくことも重要な課題です。

国産材の付加価値向上や需要拡大、加工・流通の合理化等に取り組み製材工場や合板工場と協定を締結し、国有林材を計画的・安定的に供給する「安定供給システム販売」を各地域の需要者ニーズを把



豪雨による被災の状況（栃木県日光市）



上記写真の復旧の状況（栃木県日光市）



林業機械の活用の様子

握しながら進めてまいります。  
 国有林を名実ともに「国民の森林」とするために森林の公益的機能の発揮を重視した管理経営が重要です。  
 このため、多様な森林整備の推進や鳥獣被害の防止対策を講じています。特にシカ等の野生鳥獣の生息域が拡大し、食害等が深刻化していることから、防護柵等の設置を進めるほか、被害状況や生息状況の早期把握のため、センサーカメラによる監視を強化するなどの対策を実施します。また、銃猟における安全確保を第一としつつ、地域と連携した捕獲を実施するなどシカ被害対策の推進に取り組んでまいります。



飛竜橋自然観察教育林（静岡県川根本町）

今や、国民の3割が花粉症といわれており、花粉発生源対策の推進も急がれます。花粉症対策苗木への植え替えなど、花粉の少ない森林づくりを更に進めてまいります。  
 また、近年各地で多数の山地災害が発生し、豪雨や地震により甚大な被害が生じており、自然災害への迅速な対応が求められています。治山事業の推進による災害に強い森林づくりを進めるとともに、災害発生時には、ヘリコプター調査の実施等の初動対応、崩壊地等の復旧整備を実施しています。  
 「観光先進立国」の実現にも貢献してまいります。特に優れた森林景観を有する



野反湖自然休養林（群馬県中之条町）

として林野庁が選定した「日本美しい森 お薦め国有林」をはじめ、国有林の観光資源としての活用に積極的に取り組んでいきます。  
 今年3月には東日本大震災の発生から丸8年を迎えます。昨年は、避難指示が解除された区域にある国有林において森林整備を本格的に再開するとともに、原発事故の影響により閉鎖していた森林事務所も全て再開したところです。引き続き、関係各方面との密接な連携の下、被災地の森林・林業・木材産業の一日も早い再生に着実に進めてまいります。



一ノ倉・マチガ沢風景林（群馬県みなかみ町）

国有林は、国民共通の財産です。  
 国民の皆様のご意見・ご要望をよく聞かせていただきながら、期待に応えられるよう仕事を進めていきたいと考えております。  
 関東森林管理局の広報誌「関東の森林から」では、よりわかりやすく関東森林管理局の取組を皆様にお伝えしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。  
 結びに、新しい年が皆様にとって健康で多い年となりますよう祈念申し上げます。まして、新年のご挨拶といたします。